

性的マイノリティに関する基礎知識

イントロダクション

どうもみなさん、こんにちは(会場:こんにちは)。元気なお返事をありがとうございました。

今日は、国際基督教大学の C-Week の一環として私この場でお話しさせていただけるということで、準備をしていただいた CGS の皆さん、スタッフの皆さんに、まずこのような機会を頂いたことを、心から感謝したいと思います。私は今から、1 時 50 分ごろまでお話しさせていただく予定なのですが、ご飯をたべて、ちょっと眠たい時間に入ってきていると思うのですが、よろしくお付き合いいただければと思います。

先ほどご紹介頂きましたように、2003 年の 4 月の地方統一選挙という選挙で、大阪府の堺市、この前、政令指定都市になったのですけれども、そこで府議会議員として当選をいたしました。その時 28 歳ということで最年少でした。最年少ということは、あまり争点ではなかったのですが、

「若い女性が通ったのが珍しい、それも政党に入っていない人が通ったのは珍しい、今の政治が変わっていく兆しになったのではないか」

みたいなことで取り上げられて今 3 年目を迎えています。府議会議員、都議会議員とか都道府県議会議員というのは、4 年が任期ですから、ちょうどもう折り返し地点を経て、あと 1 年というところにいます。

私自身は、先ほど田中先生からご紹介もありましたが、東京レズビアン & ゲイパレードというものが去年の 8 月にありました。その出発の挨拶のところで、マイクを握りました。そこで、「今日は私はレズビアンとして皆さんと一緒に歩きたいと思う」ということで、ここで初めて公にカミングアウトをしました。カミングアウトというのは、公表するという意味ですけれども、自分が同性愛者であるということ公表しました。

実は、日本では、同性愛者を公表した議員というのは、今までありませんでした。2003 年の地方統一選挙で性同一性障害であると公表して選挙を戦った世田谷区議会議員の上川あやさんはいますけれども、同性愛の議員というのは公表してありませんので、今のところ日本でただ一人の同性愛を公言した議員ということになっております。ただ、これは同性愛を公言している議員がいなくて、今までの色々な議員さん、国会議員、都道府県議員や、市町村議会の議員さんの中で同性愛者がいなかったのかというところではありません。どの時代、どの文化の中にも数パーセントから 10 パーセントくらいは、同性愛者、セクシャル・マイノリティがいると言われておりますから、いたしたけれども公表まで至らなかったと考えてください。

今日は私がなぜ公表に至ったのか、そして今のセクシャル・マイノリティが置かれている状況、そしてこのお話を聞いている皆さんにお願いしたいことなど、国際基督教大学ということで、やはり宗教とLGBTへの差別、LGBTというのは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル - 両性愛者の事をいうのですけれども - 、トランスジェンダーに対する、宗教が持っている、それらの差別のことについても皆さんにお話しをしていけたらと思っています。

虹はLGBTのシンボル

それでは、私だけがしゃべっているのも何ですので、皆さんにお聞きしたいのですけれども、今日は大学ということで学生さんが多いと思うのですけれども、学校でもいいです、地域でもいいです、アルバイト先でもいいのですけれども、今まで身近な中でLGBTと呼ばれる人のカミングアウトと言うか、友達にいるよという人はどのくらいいらっしゃいますか。(会場:挙手)

あ、すごい。こんなに手が上がったのは初めてですけれども、多くの方の手が挙がりました。では、みなさん、最近よく聞かれる、「性同一性障害と同性愛の違いについて分かる」、という方。(会場:挙手)

あ、これも結構手が挙がりますね。ありがとうございます。それでは、基礎知識の方は、ちょっと飛ばしながら行きましょうね。

この前も、一昨日だったかな、兵庫県の方で7歳の元々、男の子として生まれた子が、学校でも女子児童として扱われているということが話題になったのですね。関西だったので、夕方のニュースとか色々なところでニュースになったのですね。それで、私のところにも、「コメントを下さい」と言っていて、色々な方が来られたのですけれども、記者さんの中には、まだ性同一性障害と同性愛の違いについてあんまりよく分かっていない方もいらっしゃるのので、

「尾辻さんは、診断書はあるんでしょうか」

とか

「尾辻さんは、病院に行かれたことはあるんでしょうか」

とかすごいいろいろ聞かれてですね、あれは、まあ、内幕をいうと、ちょうどその日の朝に神戸新聞という地域の新聞の一面に載りまして、そうすると各社追いかけないといけないのですね。夕刊までに、そのニュースをキャッチアップしなければならない。そして、ニュースも夕方の地域ニュースまでにはもう間に合わせなければいけないと、すごく焦っているのですね。だから、なかなか基礎知識を勉強する暇もなくということで、なかなかすごい、どこからこの人にお話しをしなければならないのだろう、と思ったのですが。まだまだ、セクシャル・マイノリティの多様性についてというのは、ちょっとまだ理解が進んでいないところもあるのかなと思いました。

今日のタイトルは「虹色の社会を目指して」という風にしましたけれども、虹色の社会というのは、

皆さんも虹を思い浮かべてみれば分かると思うのですが、色々な色があります。一色では虹色にはなりません。色々な違う色がグラデーションを描きながら、一つの虹を作っている、そういうような多様性、違いを認め合いながら、そして違いを豊かさに変えられる、そんな社会をつくっていきたい、そんな想いで虹色の社会ということをタイトルにしました。今日はこのような流れで行きたいと思いません。基礎知識の部分は、最低押さえるところだけは押さえて、次に進んでいきたいと思いません。先ほどもありました虹ですが、実は6色の虹というのは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーのシンボルとして使われています。多分、アメリカのサンフランシスコとかに行かれた方は、この虹をよく見たのではないのでしょうか。アメリカのサンフランシスコは、セクシャル・マイノリティが多く集まる街として知られていますから、きっと皆さんもこの虹を見られることも多いと思いません。この6色の虹は、性の多様性を表すということで、色々なところで見ます。是非、皆さんも見かけたら「あ、これはそういう意味なんだ」ということを分かっていたらいいかな、と思いません。

性的マイノリティと呼ばれる人たち

ちょっとおさらいになるかもしれませんが、さらっとセクシャル・マイノリティと呼ばれている人にはどういう人がいるか、ということをお話していきます。というのもセクシャル・マイノリティの人権を語る上で、人権問題、何でもそうですけれども、まず正しい知識を持つということがすごく大事です。誤ったステレオタイプが、差別や偏見を生みます。ですから、どうしても今日は知識を伝えることが多くなると思うのですね。やはり知識がないとステレオタイプ、何が間違っているのか、何が違うのかをお伝えすることが、なかなか出来ませんので、ちょっとその辺は情報が多くなりますが、ご容赦いただきたいと思いません。

セクシャル・マイノリティと呼ばれる人たち、人によってちょっと入ってくる言葉が違ったりしますが、私自身は今回、こういうことで使いたいと思いません。

「レズビアン」=女性同性愛者。「ゲイ」=男性の同性愛者。ここで、ちょっと注意なのですが、日本でもゲイというと男性の同性愛者を指します。しかし、英語圏でゲイというと、男性・女性どちらも指す場合がありますので、こら辺の英語の使い方はちょっと気を付けていただきたいと思いません。ゲイという言葉は、もともとは、「陽気な人々」という意味があるのですね。これは、男性同性愛者が自分達を呼ぶときに、こういう言葉で呼んで欲しいといって自ら名付けた言葉です。それが「ゲイ」です。

そして次は、「バイセクシャル」。男性、女性どちらにも性的指向が向く人、すなわちどちらも恋愛の対象になる人を、バイセクシャルと言います。

次に「トランスジェンダー」。トランスジェンダーという概念は、実はすごく大きい概念なのです。その大きい概念の中に、先ほどいいました性同一性障害という人たちも含まれます。この辺の用語の

違いに関しては、次に説明していききたいと思います。トランスジェンダーの人たちというのは、生まれた性と心の性が一致していない、生まれたときの性と心の性に食い違いがある、しかしそこには色々なブラケーションがありますから、体を変えてしまいたい、ホルモン注射を打って、戸籍も変えてしまいたいという人もいますし、服装だけ変えればいいよと言う人もいますし、女性から男性に変わりたいという人の中で、胸だけ取ればいいよという人もいますし、色々な濃淡があります。その濃淡がありますが、大体総称してのところで私はトランスジェンダーということにくっつけています。その中に性同一性障害という、医療の診断名がある人達がいると捉えてください。

次は、「インターセックス」。半陰陽ですね。高校の理科で習ったかもしれません。男性の遺伝子はXY、女性の遺伝子はXXと習ったと思います。しかし、数千人に一人、おぎゃあ、と生まれてきた時に、男性、女性とに分けることのできない人が生まれてきます。先天的に、染色体や性器の形状が典型的な男女ではない。つまり遺伝子がXXYであったり、X遺伝子が一つしかなかったりと、そういう人が生まれてくるのです。おちんちんとおちちと両方もって生まれる、そういう人たちが出てきます。この人達が、今あんまり見かけることがないのはどうしてかという、おぎゃあと生まれた後に、出生証明書を役所に出さなければならないのです。出生証明書を出すときに、もう男性か女性かということを決めて出すのです。インターセックスとして生まれてきた人は、ちょっとしてお医者さんが、この子を男の子として育てましょう、女の子として育てましょうということで決定してしまいます。ですので、そのまま男の子として育てられる、女の子として育てられるために、インターセックスの人たちというのは見えにくくなっているということがあります。

あと、その他はこういうのがあるということを知っておいてください。「クエッシング」=上記のいずれにも属さないが、典型的な男女ではないと感じている人たち。アセット、Aセクシャルとも言いません。性的指向を持たない人、つまり恋愛感情を持たない人、持たないと決めた人、いろいろな人がいると思いますが、クィアという呼び方もあります。これは、もともと英語の変態という言葉で、相手をののしる時に使った言葉ですが、それを自分たちが自称することで肯定的に用いる。つまり

「あんた変態やん」

と言われていた言葉を

「そう、私変態なの」

と言って今度はプライド、誇りを持って使うことで、言葉の意味を変えていこうとしたものです。このクィアと言う言葉を使うときには、総称の人たちすべてを含んで使うことが多いです。

このように、セクシャル・マイノリティ、性的マイノリティと呼ばれる人たちには、実はいろんな種類があるのだなということをここでは押さえてください。

性はグラデーション

では、この人達がどういう風に違うのかについて、今日は3つの指標をご紹介します。

本当は4つあるのですが、4つご紹介すると混乱を招きやすいので、3つにします。

1.セックス、2.ジェンダーアイデンティティー、3.セクシャルオリエンテーション、と英語でここに書いてあります。この3つで先ほどあったセクシャル・マイノリティの人たちの違いの部分を押さえていきたいと思います。今日は、先ほど皆さん多くの方の手が挙がっていましたが、「セクシャル・マイノリティと同性愛の違いって何？なにが違うの？」
ここなんですよね。

私もカミングアウトしましたが、私のいる職場というのは、日本でも有数の保守的な職場なんです。どう保守的かと言いますと、大阪府は880万人、人がおります。その中で議員は112人選ばれております。そのうち、女性議員は何人だと思いますか。

実は112人のうち7人しか女性議員はいないのです。大体これは国会議員の割合と一緒ですね。都道府県議員は、だいたい、6%から7%の間しか女性がおりません。そして平均年齢もごっつ高いのです。平均年齢は大体、60をちょっとくだったところ、50の後半くらいが平均年齢です。ですから私でいくと、私の親世代の人たちと一緒に仕事をしているわけで、こういう人たちに私が同性愛者だとカミングアウトして、そうすると、言われることは

「あんたは、女が好きやってことは、男になりたいんだな」

ということを言われるわけです。ここは、本当に強固なもので、男性が女性を愛し、女性が男性を愛する、いわゆる異性愛が自明のものであるという前提に立っているわけですね。だから、女性が好きだというと

「あんたは男になりたいんだな」

っていうくらい、そういうものです。

質問でもよく聞かれるのですが、

「同性愛者とカミングアウトしてまわりの反応は変わりましたか」

とよく聞かれるのです。これはですね、まだね、触れてこないのですよ。日本の差別や偏見というのは、面と向かって罵るとか、もちろん石を投げるとか、あんまりそういうことはありません。ただし、ふれない、触らない。みなさん、私がニュースに出たりとか、本をだしたりとか、新聞に載ったりとかしていることは知っているはずなんです。普通だったら

「尾辻さん、頑張ってるね」

とか、仲の良い議員さんであれば、

「尾辻さん、なんかカミングアウトしたみたいだけど、大丈夫？」

って聞いてくれるのですけれども、誰も何も言わない。次の日に会っても

「おはよう」

それで終わり。

「え？、ニュースみた？」

と思って。だからやっぱり、年輩の人は、セクシャルリティを口に出せない。たぶん亡くなるまで、レ

ズビアンとか同性愛とか、ゲイという言葉を一生涯にしないうちに終わるのかな、とそんな感じがしました。そんな風に、受け入れられてるのか、受け入れられてないのかもよくわからない。そういう職場ですから、若い女性というだけでも、かなりその空間では異質なんです。そこで同性愛者だとカミングアウトしたら、より異質感が高まって、もう、みんなしゃべれない、触れない、とにかく留まっている、という感じが今の私の職場の状況なのです。でも、こういうことは徐々に慣れていってもらうのが、一番良いのではないかと考えているので、私が普通に接して行って、そうしているうちに皆さん、徐々に慣れてくれるだろう、と。そういう形でやっています。

性の3指標に戻りますけれども、一番始めは「セックス＝身体的な性」です。身体的な性というのも、実は男、女と、きちっと分かれるものではありません。先ほど言ったように、インターセクシュアル、インターセックスと呼ばれる人たちは、この男、女というのにははっきりとは当てはまりません。

では、真ん中の「ジェンダーアイデンティティー＝性自認」ですね、心の性、自分の思う性別も男、女と分けていますけれども、ここにも人によって色々あると思います。先ほども言ったように、女性として生まれたけれども、自分の女性性に少し違和感を持っている。でも、すべて手術をしてホルモン注射をして、戸籍まで変えたいとは思っていない。自分は、胸だけとればいいかな、とか、男性は、このような服装をしていけばいいかな、という人もおりますし、そういうことで、実はこの、ジェンダーアイデンティティーのところも、女性・男性と分かれています。さまざまではっきりとは分けられません。10人いたら、10の点があると思ってください。

大まかに言うと、多くの人は、女性として生まれたら、自分のことは女性だな、と思っている。男性として生まれた人は自分のことを男性だと思っている。ただし、トランスジェンダーなどの人は、男性として生まれたけれども、自分のことを女性として思っている。また、女性として生まれたけれども、自分のことを男性であると思っている風に自認をしている、ということです。この角度は、人によって違うという認識をしてください。

一番下の、「セクシャルオリエンテーション」、これが同性愛者を説明するときに使う用語です。「性的指向」ですね。よく、趣味嗜好の「嗜好」と間違えたりしますが、正しくは「指」の「向き」です。私の場合は、これが女性に向いておりますので、同性愛者ということになります。ゲイであれば、男性に向いているということで、男性同性愛者になるわけですが、先ほどいった性同一性障害と同性愛者の違いはどこかということになるのですけれども、これは一目瞭然、性自認と性的指向の違いということだけおさえておいてください。

トランスジェンダーで同性愛者の人も当然あります。そうですね、男性として生まれました。でも自分は、女性として生きて行きたいと心の中で自認している。好きになる性別が女性、ということになれば、心の性別としてみればこれは、同性愛者になります。同じように、女性として生まれて、男性として生きている。恋愛の対象が男性であれば、これは、性同一性障害の男性同性愛者という風の人、人も実はいるんだ、ということをお是非皆さん、押させておいていただきたいと思います。

性はグラデーションと最初に言いました。100 人いたら、100 通りの点があると思ってください。完全に男だ、完全に女だと分かれるものではないと、きっちりおさえておいていただきたいと思います。

同性愛に関する医学的な見解

同性愛に対する、医学的な見解もここで押さえておきましょう。先ほど、田中先生からもご紹介がりましたが、日本でこのような同性愛に対するタブー感が広まったのは、明治の近代以降なのです。それまでは、例えば江戸時代には、陰間茶屋といひまして、男性の俳優さんを買える、買春できる場所があったりとかして、そういう意味では日本は、性に対しておおらかなところだったのですけれども、明治以降の近代化のところ、同じようにキリスト教の社会観が入ってきたからであるという人もありますけれども、近代化の中で、性に関するものがタブー視されていくことになります。

医学的にはどのようになってきたかという、1973 年にアメリカ精神医学会が、精神障害診断基準である DSM- の第 7 版から「同性愛」という診断名を削除しました。世界では、1990 年 5 月 17 日、つい最近ですけれども、WHO、世界保健機構が、国際疾病分類(ICD)改訂版第 10 版で、「同性愛はいかなる意味でも治療の対象とはならない」としました。日本は、それから遅れること約 5 年です。1994 年に厚生省が ICP を公式基準として採用した。それまでは 1995 年 7 月に日本精神神経学界が ICP を採用するという見解を出した。つまり、たった 10 年前なのです。10 年前、それより前に、例えば辞書で同性愛というものを引くと、どうかかれていたかという、異常性欲、変態性欲と書かれていました。ですから、それより以前に大学に入って、自分が同性に惹かれているということ、大学なんかによくカウンセリングセンターなんかがありますよね。そういうところに行った人の話を聞くと

「スポーツをしなさい。君が同性に惹かれるのをなくすためには、スポーツをすればいい」

など言われて、ボクシングジムを紹介されたりなどという話があるのです。あとは

「女性の裸が載っているものを見なさい。それで、自分が性欲がわくように訓練しなさい」

などといわれた時代が本当にありました。また、例えば親に、ゲイ雑誌、同性愛の雑誌が見つかった人たちが言われたことは

「精神病院に行って直してもらいなさい」

そういうことを言われました。そして、本当に治療が行われていた時代もあります。例えば、男性に性的指向が向く男性に対して、男性の裸を見せて、そのときに電気ショックを与えるのです。いわゆる電気経路療法と言われますが、電気ショックを与えることによって、負の経験を与えることによって、性的指向を変えようとしたなんていうことも昔は行われていました。今は、性的指向は治療によって変わるものでもないし、治療すべきものでもない、すなわち異性愛が健康的な指向であるならば、同性愛も健康的な性的指向であるということが、ここではっきりしたということです。しかし、そのような結論に至るまでには、本当に色々なことがありました。例えば、ドイツではナチスの時代、ナチスの時代には、皆さんもご存知のとおり、ユダヤの人たちがダビデの星をつけられて、強制収容所に入れられました。そしてその中で多くの人々が命を亡くしました。その時に、実は、障害者の人た

ちや響唾の人たちが強制収容所に入れられました。また同性愛者、特に男性同性愛者も一緒にがナチスの収容所に入れられて働かされ、そして命を落としていきました。その時に彼らがつけさせられたのが、ピンクのトライアングルです。今、この、ピンク色の三角形は同性愛者やセクシャル・マイノリティの権利獲得運動のシンボルとなっていますが、実はナチスのそういうところからでているのです。その時には、何万人死んだのかわかりません。一説では数万人といわれますし、一説では十数万人とも言われますが、多くの人がここで命を落としています。このように、実は昔から同性愛というのが、差別や偏見にあってきて、やっとこのように日本で 10 年前、本当に 10 年前にこのような状況になったということがありました。

呼び方に注意してください

では、「呼び方に注意」を見てください。これも、色々な呼び方がありますが、当事者をおとしめる言葉として、「おかま・レズ・ホモ・男女・変態・ミスターレディ・両刀使い・ニューハーフ」等々、色々ありますが、ここで注意していただきたいのは、当事者の人で自分のことを「レズ」という人がいます。あと、自分のことを「おかま」「ホモ」といったりする人もいます。ただし、自分のことを自称して言う言葉と、第三者がその人を指して使う言葉というのは、やはり明らかに分けていただきたいと思っていて、今日、講演を聞いて下さった皆さんは、男性同性愛者であれば「ゲイ」という言葉、女性同性愛者であれば「レズビアン」という言葉を使ってください。このような、「おかま」、とか、「レズ」とか「ホモ」、とか言う言葉は、例えば当事者は

「あんたレズなんちゃうん？」

と言って、いじめられた記憶というのが沢山あります。そのため、そういう言われ方をすると傷つく人が沢山おられますので、気をつけてください。

マスコミの方が、こういうことをすると当事者が傷つくということ、イコール、セクシャル・マイノリティのことが人権問題であるという意識がある人となない人の差が激しくて、私は、同性愛者であるということを、公表した後に、神戸新聞で「レズ府議」って書かれたことがあります。「レズ府議」はね……。結局、新聞社って記者の人が記事を書くのですけれども、見出しはもう少しえらい、別の人がつけるのですね。記者さんはきちんと中身の記事を書いてくれているのですけれども、(見出しについては)

「前も言ったから大丈夫だろう」

って、デスクに確認を怠ったらしいのですね。そしたら「レズ府議」って書かれてしまって。ちょうど府議会でハウスシェアリング制度を導入したときだったのですけれども、ぜひ皆さん、呼び方には気をつけていただきたいと思います。

カミングアウトした著名人

どの時代にも、レズビアン・ゲイ・トランスジェンダーはおります。それは主に、日本の古事記とかからとってもいいくらいなのですが、今はちょっと有名なような人たちを挙げてみると、このような方がいます。

日本にもいます。笹野みちるさん、三輪昭宏さん、おすぎさんとピーコさん、前田健さん、KABAちゃん、淀川長治さん、橋口亮輔さん、三島由紀夫さん、池田久美子さん、などです。

海外にも、イアン・マッケンローさん、この人はロード・オブ・ザ・リングのガンダルフ役でして、皆さんもご存知かもしれませんね。後は今、ブラッド・ピットと結婚して妊娠中のアンジェリーナ・ジョリーさんですとか、この人はバイセクシャルだということですね。ジョージ・マイケル、クリスマスになると必ず、「ラストクリスマス」という曲が流れますが、それを歌っているのが、ワムというグループで、この人はそのうちの一人ですね。エルトン・ジョンは皆さん、ご存知だと思いますが、昨年イギリスで、パートナーシップ制が導入されまして、同性でも結婚のような関係を結べると言うことになりまして、盛大な結婚式をあげたということで有名です。フレディ・マーキュリー、この人はクイーンというグループのメンバーの一人ですが、HIVで亡くなっています。あとは、この絵を描いたキース・ヘリング。ナブラチロア。今、テニスのランキング一位のモレスモ。アメリカの議員のハーベイ・ミルクさん、この方は、1970年に議員になっています。ですから、日本ではそれから遅れること30年たって、初めて同性愛者が議員になったということです。それから、レナード・バーンスタイン、チャイコフスキー、ソクラテス、フーコーなどがいますね。

日本でも江戸時代なんかには、3代将軍家光、6代将軍家宣なんかが、男色の傾向が強い将軍だったと言われていて、その時代には、男性を買春できる陰間茶屋というのが流行ったとかそういう記述があるので、実は日本でも、歴史の中に隠されています。

同性愛者は人口の数%

では、同性愛者は人口の何パーセントくらいいるのかということなのですが、人口の3%~10%、大体数パーセントから10%位といわれています。

例えば、2004年にアメリカ大統領選挙でCNN等が行った出口調査では、約4%の人が「自分は同性愛者だ」と回答しています。このアメリカ大統領選挙の話は、なぜ出てきたかという、この大統領選挙は、ブッシュ大統領と民主党のケリー候補が闘ったのですが、争点として日本ではイラク戦争についてどうなのだ、と言われていましたが、実は、同性婚の是非を問うということが、この大統領選挙の大きな争点の一つでした。その時に面白かったのが、ブッシュ大統領の副代表候補として一緒に立候補していたのが、チェイニー副大統領だったのですが、そのチェイニー副大統領の娘のメアリーさんが実はレズビアンだったのですね。彼女がレズビアンだとカミングアウトしているわけですね。ブッシュ大統領は、同性婚に対して、

「結婚というものは、男女の結び付きである」

ということをしっかりと言っていますから、同性婚というのは認められないという考えを持っています。もちろんブッシュ陣営には、いわゆる宗教右派と言われる、キリスト教原理主義の人たちもついていましたから、そちらの票も欲しいということでそういうことを言っていました。それをサポートしなければならない、チェイニー副大統領、しかし、娘がレズビアンということで、かなり苦労していたようです。

どういう風に彼は変わっていったかという、アメリカというのは、合衆国ですから、結婚というのは

州によって違って、州が結婚というものを決められるのです。だから、チェイニー副大統領は「結婚の問題は、州の問題であるからして、州が自分達で決めるのがいいのではないか」

ということをいっていました。その時に何が行われたか。実は、大統領選挙の投票日と同じ時に、アメリカの 11 州で、同性婚を禁止する憲法の修正の投票が行われていました。この日を一緒にしたというのがミソなのです。同性結婚の禁止と、大統領選挙の日を一緒にしたということで、そのようなことに反対したい人たちをより投票所に行かせようと、そういうことで 11 州ですべて同性婚というものはだめだと、結婚というものは男女の結び付きなのだということが、過半数を取ったということがありました。その時の出口調査の結果が、4%でした。

4%だとすると、日本でいうと500万人。クラスでいうと、30人のクラスで言えば、一人くらいは同性愛者がいるということになります。日本では、あまり調査がされていません。ここに、2000人に対するアンケート調査があります。

「同性に対して性的にひかれた経験がある」= 20.2%、「同性に性的興奮を感じ、身体を触れ合った」= 10.1%。これは経験ですから、同性愛者だと自己認識、アイデンティティを持っている人ではないので、少しずついるとも思います。「世界がもし 100 人の村だったら」では、「90 人が異性愛者で、10 人が同性愛者です」と言われています。

カミングアウトの意味

では、こんなに多いのに、目に見える存在になっていないということなのですけれども、今日は、皆さんの知り合いの中にいますかという質問では、沢山の方の手が挙がって、目に見える存在になっているのだな、ということを感じました。やっぱりいろいろな場所で違うのだなということを思うのですけれども、一般的に今のセクシャル・マイノリティの置かれている状況はどういうものかということなのですけれども、一つの悪循環を描いているのではないかと思います。

皆さんのまわりは違うかもしれないのですが、私は色々なところに行くと、普通にすごくセクシャル・マイノリティを揶揄して、からかいの対象にするような言葉で言う人が多くいるのです。30歳を超えて結婚しないと

「なんで結婚しないの？おまえ、もしかしてこれなん？」

とかって、(手の甲を頬に当てる仕草)やりますね。これって皆さん知ってますか？おかま、とかホモとかを表現するときに、昔の人はこうやってしたんですね。今は違うのかもしれないですけど、この仕草で

「もしかしてホモなんか？」

とか、中のよい男性同士をつかまえて、

「おまえら、怪しいんちゃうか」

とかですね。すごく、日常の会話の中で色々なことが聞かれます。私自身も、「同性愛者」という言葉を知るよりも先に、「ホモ」とか「レズ」とかいう言葉を覚えました。みなさんはいかがでしょう。

私自身は、小学校4年生くらいの時に、ちょうどみんなが性に対して興味を持ち始める時に、

「男やのに、男が好きな人を『ホモ』っていうんだぜ。女やのに、女の人を好きな人のことを『レズ』っていうんだぜ。気持ち悪いと思わへん？」

みたいな、そういう使われ方をしていました。皆さんの中ではどうでしょうか。また、マスコミの中でも、この後少しお話ししますが、いわゆる同性愛者やセクシャル・マイノリティをアンダーグラウンドの視点から描く、自分達とは違う変な人であるという視点から描くことが普通にされていますので、なかなか同性愛者というのは、自分がそうだとことを言えないのですね。

例えば私自身もカミングアウトする前、自分が自分のままでいいのだ、と考える前には、自分が同性愛者だと知られることがすごく怖かったです。例えば、大学に通っていて、自分が同性愛者だということが友達にばれたら、自分は友達を失ってしまうのではないか。仲間外れになって誰も私の周りからいなくなってしまうのではないか。もちろん親もそうです。親が知ったら、私のことを悲しむかもしれないし、色々な話を聞いていると、もしかしたら親が自分を否定するかもしれない。それは地域の人と同じです。誰でも、もちろん自分を否定されたり、仲間はずれにされるようなことは嫌です。だから隠しておこうとしてしまうのですね。同性愛者に関してだけ言いますと、自分が言わなければ分からないわけです。私が今ここで

「私はレズビアンです」

と言わなければ、異性愛者、すなわち男性が好きな女性だと前提として思います。そのように、自分のことを取り立てていわない限り、隠すこともできるのですね。では、隠しているとどうなるか。存在が見えないのです。皆さんの近くに生きているのです、暮らしているのだということがなかなか分からない。そうすると、差別や偏見が進む。こういう悪循環が今の日本社会の多くのところで見られます。では、これを変えるためにはどうすればいいのか。当事者ができることの一つとしては、カミングアウトではないのかと思っています。カミングアウト、すなわち、目に見える存在になることです。目に見える存在になることで、何が問題なのかが見えてくる。隠れたままでは、このまま悪循環が続いてしまう。そう思って私はカミングアウトをしました。というのも、私自身もそうですが、自分が同性愛者であるという自己受容をするまでも、長い時間がかかっています。自分がありのままの自分でいいんだ、ということ、それすら日本の社会では思いにくいのですね。しかし、こうしてカミングアウトする人が出てくることで、それがニュースになる。そして、同じようなことで悩んでいる人たちが

「良かった。自分はこのままで大丈夫なんだ。このままで、ちゃんと将来、いろんな仕事にもつけるし、そして幸せにも生きていけるんだ。自分は生きていってもいいのだ」

ということが分かると思うのですね。だから私は、公表するという道を選びました。

では、現実はどういうことがあるか。現実に困っている人がいることが分かる。私もそうでした。例えば、同性パートナーの法的保障の問題ですね。日本は同性のパートナーに対して何の保障もありません。ただ、お友達同士ですから、色々な不都合なことが起こります。その不都合なことを話すと

「そんなことに困ってたんだ」

って言ってくれるのですね。

「それは、変えなあかん」

って言ってくれるんですよ。それは、現実に見える存在になったり、そうすることで、理解も深まりま
すし、相手がセクシャル・マイノリティに持っている差別や偏見の解消につながると思います。私は
これがしたくてカミングアウトをしているわけですけども、ただ、カミングアウトする、しないは当人
の判断です。今、日本社会でカミングアウトをするということは、まだまだ職場を追われる可能性が
ないとは言えませんし、例えば親御さんが、親子の縁を切ると言わない保障はありません。ですか
ら、誰かが勝手に、

「あの子、ゲイやねんて」

とか

「あの子、レズビアンやねんて」

と他の人に勝手に言うことは止めてください。これはアウトティングというのですけれども、カミングアウトとは、本人が伝えたい人に伝えていくということですから、気を付けてください。よく聞かれることに「カミングアウトされたときにどうすればいいですか」ということです。一番言ってはいけないことに「俺を襲わないでくれ」とか結構言う人がいるらしいのですね。つまり自分が同性愛者だということを友達に伝えたら、自分に恋愛感情があるのか、と。そして、自分を襲わないで欲しいと。自分の大事なことを友達に伝えるのは、自分の事を分かって欲しいから伝えるわけで、自分のことをどうこう、もちろん、恋愛感情を抱いている場合もあるかもしれませんが、ただ、だからと言って、襲うとかそういう話ではありません。自分の事を理解して欲しい、これからも友達関係を築きたいそういうつもりでやっていますから

「そうなんだ。ありがとう」

と言って、これからも友達関係を築ければいいのではないかな、と思います。